



Manuia



サモア大使館に集まった心厚き仲間たち
の暮らした文化を垣間見ながら楽しめた

エテウアティ駐日サモア大使より当OB会に対して避難所慰問への協力依頼がありました。このため参加者を募ったところ多くの方の参加がありました。また慰問先が埼玉ということで埼玉県OB会の方々にもご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

【佐藤雅昭・育子 サモアサポター】

の良かったですね。優雅でかわいらしい「ティネシバ」、かつこよさもコミカルさも味わえる「タマシバ」、勇壮な「シバタウ」、初めてみるホンモノのダンスに会場が釘づけ。根っから明るく賑やかなサモアのダンスと観客にボーダーがなく一緒に楽しめるのもサモアダンスの魅力。双葉町の町長さんも一緒に踊ってください、避難所にほんのひと時の楽しい時間を創り出せました。最後は全員で歌う「上を向いて歩こう」で締めくくり。終了後も、避難所の皆さんとの握手が絶えなかったのがとても印象的でした。地震や津波災害の危機を抱える国同士、これからも支え、励まし合い、歴史が育んだ文化から学びながら、交流が深まることを願っています。

サモア人が立ち上がった

避難所慰問

2011年6月5日（日）、在日サモア人のみなさんが、福島県双葉町住民の避難所、埼玉県旧騎西高校を慰問に訪れました。
冒頭、エテウアティ大使より2009年9月にサモア沖地震の津波で大きな被害を受けた話や、今回

の3・11で被災されながら仙台から駆けつけたミリアマさんの紹介などの話で、

の3・11で被災されながら仙台から駆けつけたミリアマさんの紹介などの話で、避難所のみなさんとサモア人の気持ちは一気に近づき共感し合えたように感じました。この日は双葉町への初めての一時帰宅が実施されたこともあり、比較的年配の方が多く見受けられ、避難生活に疲れた方々の反応も心配でしたが、健志郎くんの見事なホラ貝が響き渡ると、中庭はみるみる立ち見客であふれ、エンターティナーキング・ビストロさんの「ミリミリミリミリパチャ」のかけ声で、見事、一瞬のうちにサモアンワールドに！誰もが一緒に参加して楽しんでいた！そして始まったパフォーマンス。丁寧な日本語での説明があったので、遠いサモアの暮らした文化を垣間見ながら楽しめた



次隊 SE
【大塚一雄 昭和63年度3

今年にはJICAボランティア派遣40周年記念、そしてサモア独立50周年と大きな節目です。絆を大事にこれからもサモアの為に頑張ります。皆さんこれまで以上に応援宜しくお願いします。

当OB会としても何かしらの支援が出来ないかと考えており、良いアイディアがあれば是非お寄せ下さい。

昨年のは「絆」でした。当OB会もサモアという常夏の島を通じて知り合った「絆」の下、世代をそして性別を超え、多くの方々の協力を得て活動してきました。そのお陰で今回第12号の会報発行を迎えることが出来ましたこと心より嬉しく思いますと共に多くの方々にご協力を頂きましたことこの場をお借りしてお礼申し上げます。

第12号発行
身の危険を感じる程の大きな揺れ、そして数時間かけて厳冬の中家路に着いたあの東日本大震災から早1年が過ぎました。未だに多くの方々が大変な思いをしており、本当に心が痛みます。

パネル展大洋州の国々

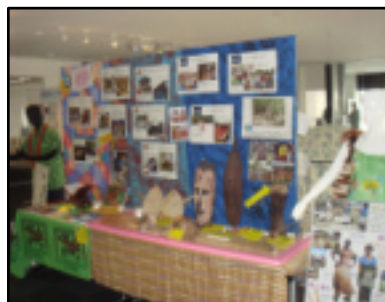
今回私は名古屋駅から徒歩10分ほどのところにあるJICA中部「なごや地球ひろば」で開催されているパネル展「大洋州の国々」を見学してきました。「なごや地球ひろば」は2009年に開館し、市民が国際協力を理解したり、参加したりするきっかけを見つめる場として広く公開されています。

さてパネル展「大洋州の国々」ですが、大洋州の国々のことを地域の人にもっとよく知ってもらおうということ、それぞれの国の歴史や文化、人々の生活から自然環境にわたって幅広く紹介されていました。我が国がサモアに関しては、自然がいったいどの写真や、カバボウルやタバなどの郷土品の展示、またオカなどのサモア料理のレシピなどが紹介されていました。日本との関係としては、5人の協力隊OBの活動報告が写真付きでパネル展示されていたり、またパンフレットなどで日本の技術提供

なごやに常夏の風が

私も帰国して10年近く経ちますが、今回のパネル展を見て久々に協力隊のころを思い出し、ボランティアの血が騒ぎ出しました。JICAは地方においてもイベントを開催していますので、みなさまもお近くにJICA足を運んでみてはいかがでしょう。

【玉木義寿 平成11年度3次隊 電話線路）



展示場の様子

今年も絶好調パンケケ

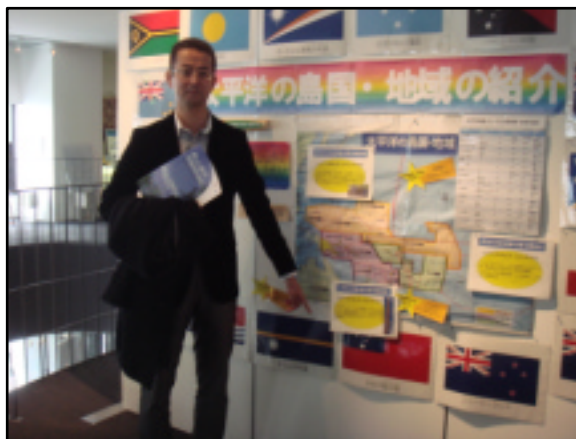
2011年10月1日、日比谷公園にてグローバルフェスタが開催されました。サモアブースでは、恒例のサモア名物パンケケを皆様に味わっていただく準備しておりました。そんな中、今回はなんと、プロの芸人さん「四国志」の人たちがパンケケ売りに協力してくださり、これまでになく程の売り上げを記録し、多くの人たちにパンケケの美味しさを体験してい

ただ今ことができませんでした。しかしながら、サモアブースを盛り上げることはできたのは、見た目も味も最高のパンケケ作りに一役買ってくれた、某女子大生の皆様、元気にパンケケをアピールしてくれたサモア人の方々のおかげでもありました。我々OB・OGも負けじとパンケケ販売に精を出し、とても楽しく2日間を終えることができました。もっとも多くの人たちに、パンケケの魅力を知っていただくためにも、これからも頑張りたいと思います。今回、お手伝いくださった皆様、ブースに遊びに来てくださった皆様、本当にありがとうございました。



【楠原由樹子 平成19年度4次隊 小学校教諭】
二日間戦い抜いた同志たち

グローバルフェスタ2011



筆者の玉木さん

～ちびっこ店長が替わりました～



初代店長

これまでサモアOB会のちびっこ店長としてパンケケの販売やサモアの津波募金に大活躍してくれたKazukiくんが卒業しました。長い間、お手伝いしてくれてありがとう。時間があつたらまた手伝いに来てね！

二代目店長はパンケケが大好きなチョウ、元気な二人です。パワーも2倍で初代店長に負けないくらい頑張ってるよ。期待しているよ。



二代目店長

ございました。来年もまた、サモアブースでお会いできるのを楽しみにしております。

サモアってどんな国



た。日本では（世界でも？）ほとんど知られていないサモアについて、どうしたら楽しく子供達に伝えることができるか。も次第に笑顔になり、サモアでも

8月28日のジョシー多田さんと様々相談（日）、しながら内容をつめていきました。神奈川イベント当日は子供達や親御さん県藤沢方が40人ほど参加してくださいました。サモア語を使ったアイスブスプレーキング、クイズ、ダンス、歌ザで行ななどなど、「時間ほどのイベントでサモアはなんだろうか？屋根？テレビ？の紹介壁？」といったクイズから、「Sa valivali means go for a walk.」トに参というサモア人だったら誰でも知っている歌。そして、ジョシーさんによるサモアンダンスのレッスン。初めは緊張気味だった子供達

サモアOB会の皆さんやアースプラザ職員の初田さん、在日サモア人

世界の人とはみんな友達

日本でも変わらない万国共通の子供の笑い声があふれました。どれも子供達のは楽しんでくれたと思いますが、中でも何が一番だったと思いますか？クイズでしょうか？ダンスでしょうか？私は、それはジョシーさんの存在そのものだったんじゃないかと思っています。あまり身近に外国人を見たことがない子供達は、ジョシーさんの言葉



サモアダンスを教えるジョシーさん

見つめていました。私は、自分がサモアにいたときに、子供達が一生懸命に私の言うことを聞いてくれていたことを思い出しました。ボランティアのとき、自分の活動は役に立っているのかどうかかわからなくなることがよくありましたが、仕事以外のところでも日本人としての存在意義があったのかもしれないな、と感じました。私達の活動は小さなものでしたが、子供達の心の奥に「みんな同じ人間で友達なんだよ」ということを少しでも感じてもらえることを願っています。

【尾上保子 平成21年度1次隊環境】



参加してくれた子供達と

平成23年度1次隊壮行会



何とサモア大使が参加！！

2011年6月9日、新宿に於いて新隊員壮行会が行われました。今回はJOCVのみ6名で、当日は駒ヶ根訓練所での訓練最終日。訓練は午前で終わり、新隊員の6名は遠路はるばる駒ヶ根から何と全員が駆け付けてくれました。

また、今回はサモア大使館から駐日サモア大使、及び大使秘書の参加もありました。長いこと新隊員壮行会を行ってきたが、とうとう大

いってらっしゃ～い

平成23年度2次隊壮行会

2011年9月8日、新宿に於いて平成23年度2次

使まで参加して下さるほどになったとは嬉しい限りです。また、最近是在日サモア人の参加も定番化してきて、新隊員達にとっては出発前にサモア人に会えるのはとてもいいことだと思っています。この壮行会の翌日に西尾新隊員が誕生日を迎えるので、他の新隊員達からサプライズの誕生日プレゼント贈呈。皆で英語とサモア語で「ハッピーバースデー」を合唱。西尾隊員は突然のプレゼントに驚き、とてもうれしそうでした。今回の隊次6名はとても仲良しで結束が固いようです。サモアに行ってもお互い助け合って、いい成果を上げてほしいと思います。2年後には是非元気な顔を見せて下さい。また酒を酌み交わすのを楽しみにしています。

隊の壮行会が行われた。今回はSVのみ1名。新SVの北住氏は、サモア国立大学で冷凍機器及び空調機器の指導を行う予定です。当日は駒ヶ根での訓練最終日でした。2か月に及ぶ訓練お疲れ様でした。当日は奥様も岐阜県からわざわざ駆けつけて参加して下さいました。北住さんは9月27日にサモアに向けて出発予定です。奥様はしばらく日本にとどまり、1年位後にサモアに向かう予定です、それまで岐阜県中津川市の自宅で過ごしサモアに旅立つそうです。中津川市は今年猛暑だったらしいので、サモアに行ったら涼しくてびっくりするかもしれませんね。お体に気をつけて充実した2年間をお過ごし下さい。

【清水幹雄 平成6年度3次隊数学教師



皆さん良い色してまんねん！

ボランティア大使館表敬訪問

2011年6月27日、なんとサモアへの出発の当日に平成23年度1次隊の、宮崎太様（PC インストラクター）、山内宏美様（歯科衛生士）、敷元佐和子様（小学校教諭）の3名様が大使へ表敬にお越し下さいました。しかし非常に残念なことに大使に急用が入り、大使へは挨拶のみとなり、代わってフアアマオ ウアレシ参事官との懇談会となりました。フアアマオ参事官によりますと、サモアのことについて、一般的なことから学校事情などのことまで皆様たくさん質問をされたとのこと、1時間弱位お話をしたのではないかと思います。フアアマオ参事官も非常に感心しておりました。出発前のお忙しい中、お越し頂きまして本当にありがとうございました。（実は、フアアマオ参事官の妹さんと山内さんが同じ病院（サモア国立病院）で働いていらつしやるようで、フアアマオ参事官の妹さんからは山内さんが頑張っている様子を見ていますよ！）

2011年9月26日に北住基様（冷凍機器、空調）と奥様の栄子様が大使表敬にお越し下さいました。北住様は大使もよく知る大手企業にご勤務されていたことや、北住様の技術やご経験が現在サモアに非常に必要であるということなどから大使とすつかり意気投合され、本当にめずらしいことですが、ランチも一緒にさせて頂くことになりました。私も一緒にさせて頂きました。北住様が、今後サモアで今までの知識やご経験を役立てたいという熱意がひしひしと伝わってきました。奥様も非常に気さくで素敵な方で、サモアとは関係のない話までいろいろなお話をさせて頂きました。ありがとうございました。

いました。
私事で恐縮ですが昨年
年末に初めてサモアを

訪問致しました。JOCVのボランティアの方々がサモア人の人達と深い信頼関係を築いて活躍なさっているということがよくわかりました。どこの家に行っても、誰と会ってもJICA・JOCVのMr/Ms〇〇知っている？と聞かれ、皆様のご活躍ぶりをいろいろと伺って参りました。本当に皆様が現地で頑張っているのを感じました。サモアの人たちが日本人旅行者の私によくして下さるのも皆様や今までのJICAやJOCVの皆様のご尽力のおかげと深く感謝しております。また、皆様のご活躍がサモアと日本の友好、外交関係に計り知れない影響を与えていることもよく分かりました。

サモアの人たちからの注目や期待も高く、大変なことも多いと思いますが、健康に気をつけて、今後もサモアと日本のために頑張ってください。皆様方の益々のご活躍を心より祈念しております。

【サモア独立国大使館 秘書 松本伊代】



フアアマオさんのお気に入りの写真、そして今は一児の母となりました。！おめでとう！

日本・サモア議員連盟

日本・サモアの議員連盟が設立されました。それも超党派で、一体何人の議員がサモアを知っているのだろうか？

光栄にもレセプションにご招待いただきましたのでOB会を代表して出席いたしました。何と場所は東京の一等地、「ホテルオークラ」です。美味しい料理とお酒がふんだんに振舞われました。大使館の

ついに議員連盟発足！

懐は大丈夫なのかと人のお財布を心配してしまうくらい豪勢でした。聞いたところによると結構緊張したとの事です。そんなことよりレセプションですが、冒頭、この議員連盟の設立の立役者となったラグビーつながりの森喜朗元首相のスピーチで始まり、その後イベントの恒例となったサモアコミュニティによるサモアンダンスの披露がありました。キャホーが格式あるホテルオークラに響き渡りました。多くの方は初めて見るサモアンダンスを堪能していました。

南太平洋の小さな島国であるサモアに光が当たることは喜ばしいことです。そしてあつという間に楽しいひと時が過ぎ、最後のシメで、ある議員さんからサモアの独立50周年に合わせて議員連盟では是非サモアを訪問したいという発言がありました。実現できることを願っています！

キャホー！

【昭和63年度3次隊 SE 大塚一雄】



ラグビー観戦記

「2011年7月2日 秩父宮ラグビー場」
～マヌが快勝日本代表W杯に向けて
大丈夫？～



試合開始早々、前半1分のペナルティ・キックを日本代表は外してしまふ。結果的には残り時間79分のこの失敗が痛恨のミスであり、日本代表の敗北を決定づけた。そのキックは決して簡単だったわけではない。だが日本代表は確実に決めておくべき先制のチャンスを逃した。勝運をあつさりマヌ・サモアに渡してしまったのだ。サモアが先制したのはそのたった1分後のことである。ゴールや左から中央へ走りぬけるトライ。キックも難なく決め、開始わずか6分でサモアが7・0となった。日本代表はその4分後のペナルティ・キックも外してしまい、二度チャンスを逃してしまふ。

一方のサモアは前半12分にペナルティ・キックを決めて10・0と、早くも試合は一方的になりそうな雰囲気だった。昨年の10月30日に



行われた親善試合とはまるで両国の立場が入れかわったかのような出だしの様相だ。さて日本代表もここでおとなしくしている場合ではない。世界ランキングでは日本が13位に対してサモアが11位と、その差は僅かなのだ。前半14分、サモアがまたしてもフィールドの一番右端にトライを決める。角度が厳しいゴール・キックを再び決め、ここで点差が17・0にまで開いてしまった。どうにかしてペースをとり戻したい日本は、この後から少しずつ時間をつくり始める。戦型をスクラムにさえもちこめば組織力で相手に対抗できるのだ。前半20分、その成果が初得点となる。トンガ出身の日本代表選手がスクラムで距離をかせいだ後サイドから突破によるトライで17・5。だがトライ後のキックを、またもや外してしまい、日本はせっかくの押せ押せムードを自ら断ちきってしまう。応援席からは日本に対するヤジが飛び始めた。日本はその7分後サモアの反則から得たペナルティ・キックさえ外すに至り、さすがにいらだちを隠せない日本サポーターたちだった。その客席の雰囲気は選手まで伝わったとは思えないが32分、ペナルティ・キックをきっちり決め、日本は17・8とまで返した。前半残り8分である。この時間の使い方によつては、後半日本が盛りかえすきっかけとなる。キックの3点でもトライの5点でも一つ奪っておけば、そのきつ



けをつかめそうだった。逆にサモアはここで追加点を取ってしまったら、相手の反撃の芽を摘みとっておく、重要な時間帯だ。そこを制したのはサモアだ。34分、流れを完全にサモアにたぐりよせるトライ！ 当たっている選手が三度目のキックも決め、何と24・8、サモアが圧倒的有利な状態で前半を折り返した。

後半、敗戦色濃くなった日本ではあるが、どこまでマヌ（野獣）に歯向かえるか。W杯自国開催に向けての真価が問われる事態である。サモアは開始早々に日本の反則から奪ったペナルティ・キックを、調子が良かったはずの選手が外し、日本としては反撃ののろしを上げるビッグチャンスとなる。会場の「日本がんばれ」という婦人ファンの叫び声。日本の足の運びが機敏になってきた。3分後、ようやく、観客の声援が希望のトライを呼んだ。トライしたのは宇薄選手だ。外国出身の選手が多い中、純血日本人プレイヤーのトライに、秩父宮ラグビー場にかけた日本のサポーターがこの日一番の歓喜で沸きたった。当たっていない日本だったが、ここはキックをきっちり決めて24・15にまで迫る。さあ日本代表としてはもう「行け行け」だ。サポーターからも選手を鼓舞する声援がより一層高まる。もしたてつづけにトライを奪えば日本の逆転勝利も見えてくる。得意のモール攻撃でボールを運ぼうとする日本に

【澤井慶太
平成6年度2次隊 音楽】



スタンドを埋め尽くすサモアンサポーターたち

し、サモアも何とかふんばって押しかえす。日本がスクラムの場面になれば、サモアは逆に苦意識があるらしく、下手にかわすと、日本が相手の反則を取れるチャンスが増す。試合はこう着してきた。しかしこの状態が続くようでは残り時間が少なくなればなるほど日本には不利だ。サポーターたちの声援が増す。意外にも多い婦人ファンの甲高い叫び声が観客席ではよく通って響きわたる。日本は次の得点になるだけ早めに決めておきたい。サモアは次のトライを取ってしまえば、相手の息の根を止められる。試合が動いたのは後半19分のことだった。サモアの選手が決定的なトライを決め、ついに観客の声援もため息に変わった。キックも難なくゴールを割ってこれで31・15。日本は万事休すであった。その後さらにサモアがペナルティ・キックを決め、試合終了のブザーが鳴った時には34・15と、ダブルスコア以上でサモアが日本代表に勝利した。少人数ながらも会場の一部で応援していたサモアのサポーターたちは、大多数の日本人サポーターたちに遠慮をしながら勝利の歓喜に踊った。そして「二ホン、ガンバレ。マタヨロシク」といういたわりの声をかけることも忘れなかった。



サモアで活躍する 現役ボランティア紹介



柳岡 寛
平成22年度3次隊
理数科教師
アアナNo1中高等学校

2011年度は、配属先でYear10の理科、Year11の数学、Year12の化学を教えていました。また、基礎教育理科改善プロジェクト(SMPBE)でワークシopp、SSC(Samoa Secondary School Certificate)の模擬試験の作成、添削にも携わりました。校舎はファレオロ国際空港前にありますが、現在改築中のため東へ約1kmにあるサタプアラの民家のファレを借りて授業を行っています。風が吹けば紙が飛んでいき、犬がよく入ってくるファレでの授業は新鮮です。やはり、サモアの生徒は数学や考えることが苦手なようです。残りの任期1年半で少しでも改善できたらと思います。



その他・サモア人はとても温かく、町を歩いていると気軽に声をかけてくれます。しかし、「ニーハオ」と声をかけられることが多いです。現在、ホームステイをしています。家族はみんな親切で、頻りに兄弟の家族や親戚が遊びに来ていつも賑やかです。バナナ、タロイモ、ココナツ中心の食事や、コーヒー味の砂糖水にも慣れました。あとはサモア語でコミュニケーションをとれるようになりたいです。

宮崎 太
平成23年度1次隊
PCインストラクター
ヴァイマグアカレッジ

アピアから東に5kmのところにある公立の中高等学校(Maimauga College)で、PCインストラクターをしています。コンピュータ授業の担当教師のスキルアップ、授業のサポート、パソコン環境の保守管理などです。日本の学校のように冷暖房完備で一人一台パソコンがあるといった環境はなく、生徒が使えるパソコンはわずか5台で、みんなて共有

して使って授業をしています。サモアはパソコンが家庭に広く普及している状況ではないので、コンピュータの授業は生徒達がパソコンを使える貴重な時間となっています。任期はまだ残り1年半あるので、やるべきこと、やりたいことが沢山あります。私が日本に帰国した後でも、カウンセラーパートであるサモア人教師が、質の高い授業とパソコン環境の整備が行えるようにスキルアップさせることが目標です。あとは、サモアの美しいエメラルドグリーンの海を満喫したいですね。

高橋 学
平成23年度1次隊
小学校教諭
ファガリイ小学校

サモアOB会の皆さま、初めまして。高橋学です。秋田県横手市よりサモアへ来ております。現在、私は小学校教諭としてファガリイ小学校に勤務しています。ファガリイ村はアメリカンサモアへのフライトが行き来するファガリイ空港やゴルフ場があり、村としては比較的發展しているところです。海を見渡せる静かなところで、10名の教員、260名の子ども達と学んでいます。赴任して以来4ヶ月間、学校傍のサモア人の家でホームステイし、約10名のサモア人との共同生活

を通して、彼らの文化を体験できたことは貴重でした。現在、新居が見つかり一人暮らしをしておりますが、時折寂しさを感じているところです。活動内容は、7・8年生への算数・理科・パソコンの指導を通して現地教員への助言を行なっているところです。教材・教具の不足は悩みの種ではありますが、現地教員の知恵を借りながら、また、パソコンでカバーしているところ。元気が有り余っている子供たちをコントロールするのはどこであっても容易なことではありませんが、好奇心旺盛な子どもたちにはたくさんのことを体験させてあげられればと計画中です。幸い、熱心な校長とカウンセラーパートに恵まれ、今年度の活動が楽しみなところであります。簡単



とってもピンクが映えて似合っています。日本の制服とは随分と異なりカラフルですね。日本も逆輸入したらどうですかね？



右の写真に比べたら重装甲車軍団です。さすがサモア人皆さん貫禄があります。

な紹介ではありませんが、残り1年と半年の任期を無事故で、充実したものとなるよう尽力していきたいと思っております。文末ではありますが、サモアOB会皆さまのますますの御健勝をお祈り申し上げますとともに、今後ともお力添えをお願い申し上げます。

山内 宏美
平成23年度1次隊
歯科衛生士
サモア国立病院

国立病院の歯科で勤務しております。2011年8月から活動が始まり、サモアの歯科にも慣れてきました。素晴らしい同僚達に囲まれ、毎日楽しく活動をしています。活動は、①診療室管理、②同僚の歯科衛生士への衛生士業務の指導、③歯ブラシ指導となっています。診療室の整理整頓や、診療で使う器具のメインテナンスを同僚と協力して行っています。また、同僚の歯科衛生士とともに患者さんに対してブラッシング指導を行っています。患者さんのブラッシングテクニックの向上を目指して頑張っています。サモアの歯科はまだまだ

「予防中心」になっていないので、今後、ますます力を入れていかなければならないと思っています。サモアはとてもものんびりしていて、住みやすいところ。人々も陽気で、笑顔が素敵です。ただ、私は犬がとても苦手、子犬ですら近づくことができません。帰国までに克服できればと思います。

西尾 和久
平成23年度1次隊
小学校教諭
サマタイ・ウタ初等学校（サバイイ島）

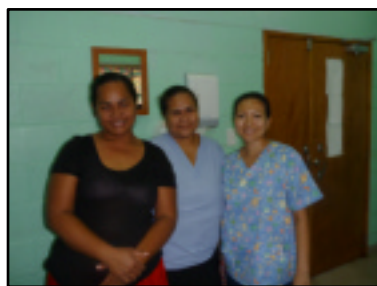
マロ！サマタイウタ小学校で算数をメインに教えている西尾和久といいます。活動にも慣れてきましたが、まだまだ周りの人に助けられることが多いです。サモアの生活で困ること。それは食事です。私はホームステイをして職場まで通っています。毎日がロロロー（脂っこいの意）の食べ物なので、太らないように走ったり

して体調管理をしています。サモア人は食べるのが大好きです。でもみんな優しく、いつも気遣ってくれるので感謝しています。15年くらい前の先輩隊員の話を村の人たちがしてくると、「ここで活動してた人がいたんだなあ」と思い、自分にとって励みになります。先輩隊員の活動が彼らにとって、良い思い出になっているようです。自分もそう言われるといいなあと思っています。サモア人の算数は答えは分かるのに、量感、距離感などがかなり曖昧です。1cmの大きさを分かってません。残り1年2ヶ月。少しでも彼らの数的



生徒は先生を慕って集まったのでしょうか？それとも写真が好きで集まったのでしょうか？どっち！

感覚を身につけさせることが今の自分の目標です。帰国時には笑顔で帰れるよう、がんばって活動します。では、ファーストイフ（see you）



武吉 溪
平成23年度1次隊
PCインストラクター
レウルモエガ・フォウ中高等学校

私はサモアの中・高等学校でコンピュータを教えています。主な活動として、カウンタパートやその他のコンピュータ担当の先生のサポートや育成、学校にあるコンピュータのメンテナンスやネットワークの導入・構築等を行っています。学校は芸術系の分野に力をいれているため、感性の豊かな元氣一杯の生徒が多いです。そのため、ダンスや歌などのイベントが入り、度々授業が中止になることもあり

ますが毎日刺激的に過ごすことができています。また、学校の前がすぐに海なので、たまに学校が終わると釣り竿やモリを持って魚を釣りに行っています。このサモアの豊かな自然と感性を少しでも吸収して、サモアのコンピュータ教育の発展と自分自身の成長につながるようしていきたいです。



何やこれコメントできまへ〜ん

先輩隊員からのエールそして苦悩

Malo！サモアでご活躍中の皆さん、o a mai oe？

暑い陽射しと独特の島時間の中、それぞれの地でご活躍のことと思います。2011年9月末に帰国した私も、気づけば早6カ月が経ちましたが、慌ただしい日本社会で過ごすこの半年は本当にあっという間でした。帰国直後は久々の日本に新鮮さを感じていましたが、3ヶ月を過ぎた頃からじわじわとサモアにいた日々を懐かしく感じ始め、今ではほとんど毎日のように夢のようだったあの楽園での日々を思い出しています。私は一般企業からの現職参加だったので、帰国後一週間で半ば強制的にサラリーマン生活に逆戻りしましたが、仕事をする中で今まで以上に色々な面で価値観の違いを感じています。働くということ、お金の価値観、幸せの概念、そして生きるということ。これはサモアにいてもよく感じることでしたが、日本に帰って日常生活に戻るとなお、二国間のギャップを改めて感じる事が多いです。皆さんも日本に帰国してしばらくすると、多かれ少なかれ同じような思いをしたいと思います。それはサモアでどれだけ貴重な時間を過ごし、多くの経験ができたかの証でもあるのでしょう。ふと気づくとサモアで共に過ごした仲間たちが次々に帰国してきて、時の流れを感じます。与えられた2年間という時間は誰にとっても等しい期間。残りの任期を健康に充実して過ごされることを祈っています。帰国の折にはOB会を通して再会し、昔話に花を咲かせましょう！

【平成21年度2次隊 理数科教師 木村竜輔】

戴元 佐和子
平成23年度「次隊
小学校教諭
モアタア初等学校

サモアOB会のみなさま、こんにちは。

私は小学校教諭として、アピア市内のモアタア小学校で活動しております。戴元佐和子と申します。出身は兵庫県姫路市で、姫路市の教員として働いております。モアタア小学校は、教員数13名児童数300名ほどのサモアでは平均的な大きさの学校です。アピアパークのすぐ近くで、市内の学校ではありますが、学校の裏が海で向かいにはマングローブ林、隣には広い芝生や綺麗な川も流れており、子どもたちは学校が終わると自然

北住 基（SV）
平成23年度2次隊
冷凍機器・空調
サモア国立大学応用科学学部

配属先は、高校卒業レベルの学生に対して、2年間の技術教育・訓練を行う技術系高等職業訓練校です。日本からの無償資金協力により校舎は建てられ、教育資材は確保されていますが、教育資材については、そろそろ更新の時期をむかえてきており、アドバイス等が必要と考えています。2011年の10月中旬に着任しましたが、既に当該年度の授業・

の中で元気いっぱいに遊んでいます。

私の活動は、主にYear4の6の算数の授業を通して、算数における基礎基本の定着を図っています。数の概念や四則演算など、経験や積み上げが大切な部分を意欲的に習得させるために、ゲームを取り入れたりいろいろな教材を使ったりしながら授業を進めています。子どもたちが「算数おもしろい！」と言ってくれるように、またそのような子どもが増えることで、サモアの先生方にも算数を教えるのが好きになっていただけたらなあと思っています。

その他にも、Year7は社会科で日本について学習するので、日本の紹介をしたり、arts&craftの時間に習字や折り紙を教えた

りという、日本文化に触れてもらえるような活動もしています。また、日本の小学校とモアタアの子どもの交流活動も行っています。日本の子どもたちも社会科や総合的な学習の時間などで、外国について学んだり英語活動をしたりにしているの、お互いにいい経験になるのではと思っています。もし交流してみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡下さい！



遠くから見るとミス何とかの記念写真みたいです

試験は終了してしましたので、2012年の2月中旬から始まる新学期授業に向けた準備をしています。冷凍機器・空調部の先生の定員は3名ですが、現在1名です。従って当面は、フルタイムで授業を受け持つことになっていきます。

サモアの印象…もともと暑いかなと思いましたが、夜はクーラーなどいらず、過ごし易いです。また、●●フをしています。日本の夏の38℃なんてことはなく、日差しさえ遮れば、快適にラウンドできます。果物は豊富で、食材にはほとんど困りません。サモア人の印象としては、腕力があ



人生の大先輩ご活躍を祈っています

ボランティア募集

当OB会のスタイルは堅苦しくない「FaaSamoa（サモア風）」で、集合時間も±30分は誤差の範囲です。知らない顔同士でも年齢が違って、みんな基本的にサモア風なので、すぐになじみます。普段の忙しい日常や仕事を忘れてのんびりできるひとときです。ぜひ顔を出してみてください。多くの方のご参加・ご協力をお待ちしております。

サモアOB会会報は、年一回発行しています。

会報・当OBに関するご意見・ご感想などをお待ちしております。

OB会役員宛メール samoa@fafetai.net

OB会メーリングリスト vailima-fafetai.net@fafetai.net

（※事前登録が必要です。）

OB会ウェブサイト： <http://www.fafetai.net/>

平成23年度会計報告

本年度も皆様から会費のご支援ありがとうございました。各種イベントへの参加や会報の作成などの活動を通してサモアの広報および親善活動に有効に資金を使えたかと思っております。今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【S63-3 SE 大塚一雄】

収入		支出	
会費	79000	OB・関係者への通費	29680
事業助成金	148360	JICA会費	30000
ボト（グローバル等）	112500	ボト（グローバル等）	120415
その他	0	印刷費	148000
-	-	雑費	6320
小計	339860	小計	334415
前年度繰越金	901136	次年度繰越金	914581
合計	1,240,996	合計	1,248,996



サモアでの送別会

越してよかった！
1972年5月サモア（当時国名西サモア）にやってきました。同じ年にJO

特別寄稿

愛があるから

昨年4月、39年住み慣れたサモアから息子家族の住むオーストラリアへ引っ越ししました。常夏のあの肌を焦がす暑さから四季のあるオーストラリア、気候の違いにやっと慣れたこの頃です。「Malo」とどこにいても声のかかるサモアから今では知った顔は家族だけの普通のお婆あちゃんの生活をしています。長年の一人住まいから息子夫婦と孫たちに囲まれた賑やかな毎日に家族の絆を強く感じ本当に引越してよかった！

サモアのビッグママことヒデさん、誰しもがサモアにいる間お世話になったのではないのでしょうか。サモアに行けばヒデさんがいるという安心感。それがなくなったのはとても残念です。JO CVとともに歩んだ39年間のサモアでの生活、すごすぎます。長い間ありがとうございました



小林秀野
オーストラリア発
2012年2月

皆様にはちゃんとご挨拶せずサモアを去りましたがここオーストラリアで普通のお婆あちゃん元気でやっています！皆様といつかまたお会いできますように。



ご家族とのピクニック

編集後記

サモアOB会として毎年いろいろなイベントに参加しております。今回新たな試みとして「なごや地球ひろば「大洋州の国々」パネル展」に出展させて頂きましたが、地方のOB会会員の皆様をはじめ現職隊員皆様の多大なるご協力を頂戴できたことが、今までにない収穫でOB会役員として大変心強く思いました。

今回の経験を踏まえて、地方の会員の皆様も気軽に参加できるイベントの設定できればと思っておりますので、これからもサモアOB会をよろしく願いいたします。

【H63-1電話交換機 新井克芳】

今年ついに50の大台にのりました。サモアにいた若かれし頃、自分がこの年になることなど想像もしなかったのですが、やっぱり年はとるのですね！ 時間よとまれ！

【S63-3SE 大塚一雄】

「不況のためか、相変わらずの無職透明のアルバイト生活である。今度サモアに行けるのはいつのことか。最近インフルエンザに罹って寝込んでました。皆さん気をつけましょうね。」【H6-3数学教師 清水幹雄】

サモアを紹介する時、ずっと「地球で最後の夕陽が見られる」と言ってきたのに、この自慢のセリフが使えなくなった。日付変更線など、所詮は人間が考えたものだが、何となく悲しいのだ。少なくとも新鮮さはないんだよね。

【H6-2 音楽 澤井慶太】

今年は結婚という人生における一つの重大イベントがありました。大変なこともあります。今まで一人では出来なかったことも二人ならばできるということが多くあります。地震に異常気象、それに不景気と科学が進歩していつにない不安なことが広がってきています。ですが、一人よりも二人、二人よりも三人、みんなで力を合わせれば未来は明るくなると思っています。去年はOB会のイベントにほとんど参加できなかったのが今年は沢山参加できればと思います。

【H16-3理科数教師 野口裕久】

サモア大使館からのお知らせ

サモアJICAボランティアの皆様

日頃から皆様方のご協力誠にありがとうございます。

ご存じのように今年はサモア独立50周年、サモアJICAボランティア派遣40周年の記念の年です。そこでサモア大使館では6月29日に両記念をお祝いするレセプションを都内のホテルにて開催します。

レセプションにはサモアJICAボランティアの第1期の方々からすべての隊員をご招待させていただきます。招待状は5月中旬頃を予定しております。またボランティアを支えられたご家族やご友人の方々も同様にご参加頂けますが、その際はお手数ではございますが、事前にサモア独立国大使館までご連絡下さい。別途招待状をお送りいたします。皆様にお会いできるのを大使一同心よりお待ちしております。



駐日サモア大使館職員一同

日時：6月29日（金） 午後6時30分から同8時30分

場所：ホテルオークラ あけぼのルーム

＜服 装＞

当日はJICA ボランティアの皆様の功績を称え一緒にお祝いをする会ですので、サモアン風でラバラバ・プレタシ等、また日本風でゆかた等も大歓迎です。そしてクールビズで、ジャケット、ネクタイ等不要です。

＜お願い＞

会場ではJICAボランティアのこれまでの活動を写真やビデオでの紹介を予定しておりますので、是非、お宝映像・画像をお持ちでしたら5月31日（締め切り後も受け付けます。）までにサモア独立国大使館までお送り頂けますでしょうか。なお、写真につきましては、返却はできませんが、ビデオのご返却をご希望の場合はその旨記載下さい。

【送付先】

〒104-0042 東京都中央区入船2-7-4政光ビル3階

サモア独立国大使館（担当：松本）

03-6228-3692

OB会からのお願い

記念レセプションに関しては、2月下旬に大使館からお話を伺いました。今回のレセプションはエテウアティ駐日サモア大使の意向としては50周年記念より、これまでサモアに対して協力をしてくれた協力隊・SVを前面に出し、それを感謝するものにしたいとのことでした。サモアのために地道に活動してきた多くの方々の評価を下さっていることうれしいですね。そしてそれが全てのボランティアへの招待状につながるのですが、残念なことに連絡先が把握できていない方が数多くいます。

お手数ですが、ご連絡先（・氏名 ・住所 ・携帯 ・メルアド）を以下のアドレスにご連絡頂けませんでしょうか。また同期やお知り合いの方々にも本旨をお伝え頂けないでしょうか。我が第二ふるさとであるサモアのために宜しくご協力のほどお願い申し上げます。ご連絡いただいた情報につきましては当OB会活動以外の目的では使用いたしません。

【青年海外サモアOB会事務局】

※連絡先：samoa@fafetai.net

サモアからのお願い

サモアOB会の皆様

今年はサモアにとってもJOCVにとっても記念すべき年です。現在、40周年記念の機関誌と記念事業をしようと委員会を立ち上げ、活動しているところです。

そこでOBの方々にお願いがあります。ボランティア派遣40周年ということで、機関誌にこれまでの活動を写真を交えてたくさん掲載したいと思っております。

そこで、

＊ 当時の活動の様子が分かる写真

＊ それに対するコメント（150字程度）

をぜひ下記のアドレスまで送っていただきたいのです。

hanakoyabumoto@yahoo.co.jp （数元PCメール）

また、活動の写真だけでなく、昔のサモアの町並みが分かるような写真もあれば、ぜひ送ってください。現在の同じ場所と比較して掲載したいので、必ず場所の名前も書いてください。

サモア協力隊40年の歴史が分かるような記事にしたいと、メンバー一同意気込んでおりますので、ぜひたくさんの方のご協力をお願いします。

【数元佐和子 平成23年度1次隊 小学校教諭】

サモア OB 会第 12 号会報「MANUIA」の発行について

拝啓

春うららかな今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 日頃 OB 会活動にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、この度当 OB 会¹では多くの方々のご協力により第 12 号会報「MANUIA」を発行することができました。すでにサモア ML^(メール・リスト)²にご登録頂いている方にはメールにてお知らせしておりますが、改めて当会の活動内容を知って頂くため会報を送らせて頂いております。

今回の会報には、東日本大震災で被災した方々が避難されている旧埼玉県立騎西高校をサモア人が慰問したことや前号で好評だったサモアで活躍している現役ボランティアの方々をご紹介します。昨年以上に盛りだくさんです。

また今年はサモア独立 50 周年、及び協力隊派遣 40 周年という記念すべき年です。このため駐日サモア大使館では 6 月 29 日（金）に記念レセプションを開催します。きっと会場にはほら貝の音が鳴り響き、サモアダンスが繰り広げられることでしょう。今から楽しみです。

こう言った OB 会活動を行っておりますが、全く堅苦しくない「FaaSamoa（サモア風）」で、集合時間も±30 分は誤差の範囲です。世代、そして性別が違って、みんな基本的にサモア風なので、すぐになじみます。普段の忙しい日常や仕事を忘れて、サモアにタイムスリップしたようなのんびりとした時間を過ごせることと思いますので、ぜひ顔を出してみてください。多くの方々のご参加・ご協力をお待ちしております。

またこの機会を捉えてひとつ OB 会からお願いがございます。現在、OB 会の活動は全てボランティアで行っております。しかしながら、会を運営するに当たりましては、少なからず経費が必要となります。このため当 OB 会では従来から会費制を採用しております。

つきましては、当 OB 会の趣旨及び活動にご賛同頂ける場合は以下の OB 会口座³に年会費（2,000 円）をお振込み頂ければ幸いに存じます。ご不明な点などがございましたら samoa@fafetai.net へご連絡下さい。

※上述しましたレセプションに関してですが、5 月上旬から中旬あたりにサモア大使館からの招待状がお手元に届くと思います。その際には本会報をご郵送した住所を使用させていただきますので予めご了解いただければと存じます。不都合がある場合はお手数ですが上記メールアドレスへご一報いただければ幸いに存じます。

敬具

¹ サモア OB 会とは (<http://www.fafetai.net/>)

サモア OB 会は、JOCV の OB・OG を中心に、その経験を生かしてサモアと日本の親善に寄与し、会員相互の親睦を図る目的で、1994 年に設立された任意団体です。当初サモア関係者は 200 名程度でありましたが、現在では JOCV、SV、専門家、JICA 元所長・駐在員、JOCV 調整員などを含め 450 人を超える大所帯になりました。

² サモアメールリングリスト

サモア ML へ登録ご希望の方は次のアドレス(<http://fafetai.net/mailman/listinfo/vailima-fafetai.net>)から登録が出来ます。経費削減及び迅速な情報伝達のため是非ご登録下さい。手続きがご不明な場合は samoa@fafetai.net へお問い合わせ下さい。)

³ 振込先口座

金融機関：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九店（ゼロイチキユウ店） 口座種類：当座
口座番号：0544721 口座名義：セイネンカイガイキョウリヨクタイサモアオービーカイ